

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成28年 4月 1日 10時00分～11時00分

出席委員：天谷委員長・入谷委員・小澤委員・中西委員・立花委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出 席 者
1	「平成28年度名古屋市犯罪抑止対策～政令指定都市ワースト1位罪種返上に向けて～」の策定	生活安全部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 課 長 生活安全部長 地 域 部 長
2	県内各自治体のマスコットキャラクターを起用した交通安全広報活動の展開	交通部	刑 事 部 長 交 通 部 長 警 備 部 長 名古屋市警察部長 情報通信部長

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出 席 者
1 決裁	公安委員会宛文書等の受理（9件）	総務部	公安委員会執務官
2 決裁	激励の上申		
3 決定	聴聞等の実施結果・決定 44件	総務部	首席聴聞官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 生活安全部

「平成28年度名古屋市犯罪抑止対策～政令指定都市ワースト1位罪種返上に向けて～」の策定

生活安全部長から、

「警察と名古屋市の共同で、『平成28年度名古屋市犯罪抑止対策』を策定し、政令指定都市ワースト1位罪種の返上に向けた集中的な対策を推進していく」

旨の報告があった。

委員から、

「各企業の防犯CSR活動ともうまく連携されたい」

旨の発言があった。

(2) 交通部

県内各自治体のマスコットキャラクターを起用した交通安全広報活動の展開

交通部長から、

「安全で快適な交通社会を実現するため、県内各自治体のマスコットキャラクターを『交通安全大使』として起用し、自治体と連携した効果的な交通安全広報活動を展開し、交通安全キャンペーンの活性化や自治体の自主的な活動の促進を図る」

旨の報告があった。

委員から、

「各種メディアを活用して積極的に広報されたい」

旨の発言があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（9件）

公安委員会執務官から、

3月28日までに届いた公安委員会宛の文書等9件について報告があり、公安委員会は「交通取締りに関する申出」を警察法第79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁した。

(2) 激励の上申

公安委員会執務官から、

北区楠味銃4丁目地内における男性被害強盗殺人未遂事件捜査本部に対する激励の上申について説明があり、決裁した。

(3) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、

運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 44件
について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成28年4月8日 9時55分～12時40分

出席委員：天谷委員長・入谷委員・中西委員・立花委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	コミュニケーション支援ボードの受贈	地域部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長
2	新通信指令システムを活用した緊急配備訓練の実施		
3	報告 刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（平成28年1～3月）	刑事部	生活安全部長 地 域 部 長
4		交通部	
5	警察庁広報誌「焦点」を活用した広報活動の推進	警備部	警 備 部 長 名古屋市警察部長 情報通信部長
6	伊勢志摩サミットに向けた部隊視閲及び総合警備訓練の実施		

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1 決裁	公安委員会宛文書等の受理（2件）	総務部	公安委員会執務官
2 決裁	警察署協議会委員の辞職及び委嘱（3件）		
3 報告	平成27年度留置施設の実地監査の実施結果及び平成28年度留置施設の実地監査の実施計画		留置管理課長
4 決裁	犯罪被害者等給付金支給裁定に係る審査請求に対する国家公安委員会への事実を証する書類の提出	警務部	住民サービス課長
5 報告	外部通報調査結果・措置内容		
6 決裁	暴対法に基づく用心棒行為等防止命令の発出に係る意見聴取の実施について	刑事部	組織犯罪対策課長
7 決定	聴聞等の実施結果・決定 41件	総務部	首席聴聞官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 地域部

ア コミュニケーション支援ボードの受贈

地域部長から、
「民間団体から、コミュニケーション支援ボードの寄付を受ける」
旨の報告があった。

イ 新通信指令システムを活用した緊急配備訓練の実施

地域部長から、
「4月12日（火）午後1時30分から、名古屋市内において、新通信指令システムを効果的に活用した実践的緊急配備訓練を実施する」
旨の報告があった。

(2) 刑事部

刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（平成28年1～3月）

刑事部長から、平成28年1月から3月の刑法犯・重要窃盗犯の認知・検挙状況（前年同期との比較）について、

「 刑法犯の認知件数は16,731件で、1,621件減少した
刑法犯の検挙件数は5,651件で、70件増加した
刑法犯の検挙率は33.8パーセントで、3.4ポイント上昇した
刑法犯の検挙人員は3,675人で、25人減少した
重要窃盗犯の認知件数は2,205件で、694件減少した
重要窃盗犯の検挙件数は1,110件で、455件増加した
重要窃盗犯の検挙率は50.3パーセントで、27.7ポイント上昇した
重要窃盗犯の検挙人員は154人で、27人増加した」
旨の報告があった。

委員から、
「自動車盗の認知件数が昨年と比べて半減しているが、何か理由はあるのか」
旨の質問があり、
刑事部長から、
「組織窃盗グループの検挙が、認知件数の減少につながっていると思われる」
旨の説明があった。

(3) 交通部

交通事故発生状況（平成28年3月末）

交通部長から、平成28年3月末の交通事故発生状況について、
「交通事故死者数は、3月中17人で前年同期と比べ5人増加した。
3月中の交通死亡事故の主な特徴は、
高齢者が被害者となる事故が多発・増加
尾張地域が多発・増加
二輪車が当事者となる死亡事故が多発・増加
である。
4月中の主な取組は、
春の全国交通安全運動と連動した交通事故抑止活動の強化
自転車部隊の新設に伴う街頭活動の強化
反射材普及に向けたキャンペーンの実施
である」
旨の報告があった。

(4) 警備部

ア 警察庁広報誌「焦点」を活用した広報活動の推進

警備部長から、警察庁広報誌「焦点」を活用した広報活動の推進について

て、

「警察活動に対する県民の理解と協力を得るため、警察庁広報誌『焦点』を各種警備広報に積極的に活用するとともに、警察署協議会を始めとした関係機関・団体に配布する」

旨の報告があった。

イ 伊勢志摩サミットに向けた部隊視閲及び総合警備訓練の実施

警備部長から、

「4月15日（金）、中部国際空港において、伊勢志摩サミットに向けた部隊視閲及び総合警備訓練を実施する」

旨の報告があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（2件）

公安委員会執務官から、

4月4日までに届いた公安委員会宛の文書等2件について報告があり、公安委員会は「事件捜査に関する申出」及び「運転免許技能試験に関する申出」を警察法第79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁した。

(2) 警察署協議会委員の辞職及び委嘱（3件）

公安委員会執務官から、

警察署協議会委員の辞職及び委嘱について報告があり、1警察署協議会1人の辞職並びに2警察署協議会2人の辞職及び後任者2人の委嘱について決裁した。

(3) 平成27年度留置施設の実地監査の実施結果及び平成28年度留置施設の実地監査の実施計画

留置管理課長から、
平成27年度に実施した留置施設の実地監査の結果及び平成28年度の留置施設の実地監査の実施計画
について報告があった。

委員から、
「勤務員の職場環境にも配慮されたい」
旨の発言があった。

(4) 犯罪被害者等給付金支給裁定に係る審査請求に対する国家公安委員会への
事実を証する書類の提出

住民サービス課長から、犯罪被害者等給付金支給裁定に係る審査請求に対
する国家公安委員会への事実を証する書類の提出について、
「平成27年8月7日に行った犯罪被害者等給付金不支給裁定について、
当該給付金申請者が国家公安委員会に対して行った審査請求に関し、国家
公安委員会へ事実を証する書類を提出する」
旨の報告があり、決裁した。

(5) 外部通報調査結果・措置内容

住民サービス課長から、
外部通報に基づく調査の結果及び措置の内容
について報告があった。

(6) 暴対法に基づく用心棒行為等防止命令の発出に係る意見聴取の実施について

組織犯罪対策課長から、
「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第30条の7第2項に
規定する用心棒行為等の約束に係る防止命令に係る意見聴取を実施する」
旨の報告があり、決裁した。

(7) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
 運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 37件
 風俗営業等の停止処分に関する聴聞結果 4件
について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成28年 4月15日 9時30分～12時35分

出席委員：天谷委員長・入谷委員・小澤委員・中西委員・立花委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	自動車整備工場の完成	総務部	本 部 長 総 務 部 長
2	愛知県被害者支援連絡協議会定例総会の開催	警務部	警 務 部 長 生活安全部長
3 報告	株主総会に対する特別警戒の実施	刑事部	地 域 部 長 刑 事 部 長
4	主要事件の検挙		交 通 部 長 警 備 部 長
5	行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（平成28年3月中）	警備部	名古屋市警察部長 情報通信部長

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1 報告	警察署長会議の開催結果	総務部	総 務 課 長
2 決裁	公安委員会宛文書等の受理（3件）		公安委員会執務官
3 決裁	激励の上申		
4 決裁	警察署協議会委員の辞職及び委嘱		
5 報告	監察案件	警務部	首 席 監 察 官
6 決定	運転者区分決定に対する異議申立て（3件）		訟 務 官
7 決定	運転免許取消処分に対する異議申立て		
8 決定	放置違反金納付命令に対する異議申立て		
9 報告	執行停止申立事件の決定及び即時抗告の申立て		
10 報告	ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告の実施	生活安全部	子ども女性安全対策課長
11 決定	聴聞等の実施結果・決定 56件	総務部	首 席 聴 聞 官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 総務部

自動車整備工場の完成

総務部長から、
「平成26年度から建て替え整備を行っていた自動車整備工場が完成した」
旨の報告があった。

(2) 警務部

愛知県被害者支援連絡協議会定例総会の開催

警務部長から、
「4月20日(水)午後1時30分から、愛知県三の丸庁舎において、愛知県被害者支援連絡協議会定例総会を開催する」
旨の報告があった。

(3) 刑事部

ア 株主総会に対する特別警戒の実施

刑事部長から、株主総会に対する特別警戒の実施について、
「5月2日(月)から6月30日(木)までの間、刑事部長を長とする『株主総会特別警戒本部』を設置し、株主総会の臨場警戒や、企業恐喝等の不法行為の取締り等を実施する」
旨の報告があった。

イ 主要事件の検挙

刑事部長から、
北区楠味銃4丁目地内における男性被害強盗殺人未遂事件
六代目山口組直系組長らによる電磁的公正証書原本不実記録・同
供用事件
覚せい剤取締法違反事件
の検挙概要について報告があった。

委員から、
「難しい事件をよく検挙された」
旨の発言があった。

(4) 警備部

行進又は集団示威運動に関する条例の許可申請及び許可（平成28年3月中）

警備部長から、3月中の行進又は集団示威運動に関する条例の取扱状況に
ついて、

「27件の許可申請を受理し、全て許可した」
旨の報告があった。

2 個別審議

(1) 警察署長会議の開催結果

総務課長から、警察署長会議の開催結果について、

「4月8日（金）午後、警察本部講堂において、警察署長会議が開催さ
れた。

愛知県公安委員会委員長の来賓挨拶に続き、本部長から、最重要課題で
ある

伊勢志摩サミット警備の万全
暴力団の壊滅
交通死亡事故の抑止
犯罪の抑止

等についての訓示があり、その後、各部長等から具体的推進方策に関する

指示が行われた」
旨の報告があった。

(2) 公安委員会宛文書等の受理（3件）

公安委員会執務官から、
4月11日までに届いた公安委員会宛の文書等3件
について報告があり、公安委員会は「交通取締りに関する申出」及び「犯罪
捜査に関する申出」の2件を警察法第79条に規定する苦情として受理し、警
察本部長に対して調査指示する旨決裁した。

(3) 激励の上申

公安委員会執務官から、
偽造運転免許証を使用した融資金詐欺事件を端緒とした信用金庫融資部
職員による不正競争防止法違反被疑事件捜査本部
に対する激励の上申について説明があり、決裁した。

(4) 警察署協議会委員の辞職及び委嘱

公安委員会執務官から、
警察署協議会委員の辞職及び委嘱
について報告があり、1警察署協議会1人の辞職及び後任者1人の委嘱につ
いて決裁した。

(5) 監察案件

首席監察官から、
監察案件
について報告があった。

(6) 運転者区分決定に対する異議申立て（3件）

訟務官から、運転者区分決定に対する異議申立て3件について、申立て内容の説明及び「決定書案」の提示と説明があり、審議し、いずれも原案どおり決定した。

(7) 運転免許取消処分に対する異議申立て

訟務官から、運転免許取消処分に対する異議申立てについて、申立て内容の説明及び「決定書案」の提示と説明があり、審議し、原案どおり決定した。

(8) 放置違反金納付命令に対する異議申立て

訟務官から、放置違反金納付命令に対する異議申立てについて、申立て内容の説明及び「決定書案」の提示と説明があり、審議し、原案どおり決定した。

(9) 執行停止申立事件の決定及び即時抗告の申立て

訟務官から、
「ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告の執行停止申立て事件の決定及び申立人が決定内容を不服として名古屋高等裁判所へ即時抗告を申し立てたため、応訴する」
旨の報告があった。

(10) ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告の実施

子ども女性安全対策課長から、ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づく警告の実施について、
「平成28年3月中は、ストーカー行為等の規制等に関する法律に基づき、押し掛け、見張り、面会等要求、連続電話等を理由に54件の警告を実施し

た」
旨の報告があった。

(11) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、
運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果 50件
風俗営業等の停止処分に関する聴聞結果 6件
について報告があり、行政処分を決定した。

定 例 公 安 委 員 会

日 時：平成28年4月22日 9時00分～12時30分

出席委員：天谷委員長・入谷委員・小澤委員・中西委員

1 全体審議（公安委員会会議室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	5月の行事予定	警務部	本 部 長 総 務 部 長 警 務 部 長 生活安全部長 地 域 部 長 刑 事 部 長 交 通 部 長 警 備 部 長 名古屋市警察部長 情報通信部長
2	人身安全対処事案の取扱状況（平成27年度）	生活安全部	
3	春の行楽期における雑踏警備の実施	地域部	
4	平成27年度における取調べの録音・録画の試行状況	刑事部	
5	主要事件の検挙		
6	春の全国交通安全運動の実施結果	交通部	
7	県内初となる自転車運転者講習受講命令書の交付		
8	熊本県を震源とする地震に伴う警察災害派遣隊の派遣	警備部	
9	憲法記念日をめぐる動向と警察措置		
10	伊勢志摩サミット開催に伴う交通規制・車両検問に伴うチラシの作成		

2 個別審議（公安委員執務室）

案件	件 名	担当部	出席者
1	決裁 公安委員会宛文書等の受理（4件）	総務部	公安委員会執務官
2	決定 保有個人情報の開示請求に係る決定		
3	決裁 激励の上申		
4	決裁 苦情の調査結果	警務部	住民サービス課長
5	報告 監察案件		首席監察官
6	決定 運転者区分決定に対する異議申立て（3件）		訟 務 官
7	決定 運転免許取消処分に対する異議申立て		
8	裁決 運転免許停止処分に対する審査請求		
9	報告 街頭防犯カメラシステムの録画データ活用状況	生活安全部	生活安全総務課長
10	報告 児童虐待事案への対応		少年課長
11	報告 交通事故統計外の事故等（平成28年第1四半期）	交通部	交通総務課長
12	報告 警察職員の援助派遣	警備部	警備総務課長
13	報告 警察職員等の援助要求		警備部参事官
14	決定 聴聞等の実施結果・決定 58件	総務部	首席聴聞官 聴 聞 官

議事の概要

1 全体審議

(1) 警務部

5月の行事予定

警務部長から、5月の行事予定について、
「県警強調業務及び各部強調業務は、
伊勢志摩サミット開催に伴う警備諸対策の推進
である」
旨の報告があった。

(2) 生活安全部

人身安全対処事案の取扱状況（平成27年度）

生活安全部長から、
平成27年度における人身安全対処事案の取扱状況
について報告があった。

委員から、
「迅速な対応により重大事件に発展することを未然に防止している。今
後も引き続きしっかり対応していただきたい」
旨の発言があった。

(3) 地域部

春の行楽期における雑踏警備の実施

地域部長から、春の行楽期における雑踏警備の実施について、
「4月29日（金）から5月8日（日）までの間、春の行楽期における雑
踏警備を実施する。雑踏警備対象は13か所（13警察署）である。
主な警備対象は、『ナゴヤエキトピアまつり』、『尾張津島藤まつり』、

『砥鹿神社例祭』等である」
旨の報告があった。

委員から、
「警察だけでなく、自主警備ともうまく連携し、万全な警備をお願いしたい」
旨の発言があった。

(4) 刑事部

ア 平成27年度における取調べの録音・録画の試行状況

刑事部長から、
平成27年度における取調べの録音・録画の試行状況
について報告があった。

委員から、
「取調べの可視化に適應すべく、捜査員の取調べ技術の更なる向上、
教養にも努めていただきたい」
旨の発言があった。

イ 主要事件の検挙

刑事部長から、
常滑市議会議員らによる企業誘致をめぐる贈収賄事件の検挙概要
名古屋市中川区西日置一丁目地内における殺人事件の検挙概要
について報告があった。

(4) 交通部

ア 春の全国交通安全運動の実施結果

交通部長から、
「4月6日(水)から15日(金)までの間、春の全国交通安全運動を実施

した。主な取組みとして、

交通安全大使の委嘱式及びミニ交通博
春の交通安全運動出発式

反射材普及に向けたキャンペーン

シートベルト・チャイルドシート関所、街頭大監視等の県内
一斉活動

等を実施した」

旨の報告があった。

イ 県内初となる自転車運転者講習受講命令書の交付

交通部長から、

「自転車運転者講習制度が平成27年6月1日に施行されたが、県内で
初となる自転車運転者講習受講命令書を、危険行為を反復した違反者に
対し交付する」

旨の報告があった。

委員から、

「今後も制度を適切に運用されたい」

旨の発言があった。

(5) 警備部

ア 熊本県を震源とする地震に伴う警察災害派遣隊の派遣

警備部長から、

熊本県を震源とする地震に伴い派遣された警察災害派遣隊の活動状況等
について報告があった。

イ 憲法記念日をめぐる動向と警察措置

警備部長から、

憲法記念日をめぐる動向と警察措置
について報告があった。

ウ 伊勢志摩サミット開催に伴う交通規制・車両検問に伴うチラシの作成

警備部長から、

「伊勢志摩サミット開催に伴う交通規制及び車両検問を実施するに当たり、より具体的な規制内容等を盛り込んだチラシを作成し、関係団体に配布するほか、警察署に配布して広く県民に周知し、県民の理解と協力を得て、交通混雑の緩和と警備措置の円滑化を図る」

旨の報告があった。

2 個別審議

(1) 公安委員会宛文書等の受理（4件）

公安委員会執務官から、

4月18日までに届いた公安委員会宛の文書等4件について報告があり、公安委員会は「職務質問に関する申出」を警察法第79条に規定する苦情として受理し、警察本部長に対して調査指示する旨決裁した。

(2) 保有個人情報の開示請求に係る決定

公安委員会執務官から、

公安委員会宛の自己情報開示請求に係る決定案について説明があり、決定した。

(3) 激励の上申

公安委員会執務官から、

常滑市議会議員らによる企業誘致をめぐる贈収賄事件捜査本部に対する激励の上申について説明があり、決裁した。

(4) 苦情の調査結果

住民サービス課長から、
公安委員会宛の「警察官の対応に関する苦情」について調査結果の報告
及び申出者に対する通知文案の提示と説明
があり、審議し、原案どおり決裁した。

(5) 監察案件

首席監察官から、
監察案件
について報告があった。

委員から、
「組織の規則にのっとり、基本ルールを徹底するよう職員に指導してい
ただきたい」
旨の発言があった。

(6) 運転者区分決定に対する異議申立て（3件）

訟務官から、運転者区分決定に対する異議申立て3件について、
申立て内容の説明及び「決定書案」の提示と説明
があり、審議し、いずれも原案どおり決定した。

(7) 運転免許取消処分に対する異議申立て

訟務官から、運転免許取消処分に対する異議申立てについて、
申立て内容の説明及び「決定書案」の提示と説明
があり、審議し、原案どおり決定した。

(8) 運転免許停止処分に対する審査請求

訟務官から、運転免許停止処分に対する審査請求について、

審査請求内容の説明及び「裁決書案」の提示と説明があり、審議し、原案どおり裁決した。

(9) 街頭防犯カメラシステムの録画データ活用状況

生活安全総務課長から、
平成27年10月1日から平成28年3月31日までの街頭防犯カメラシステムの録画データの活用状況について報告があった。

委員から、
「昨今では、防犯カメラは『犯罪の抑止力』としての位置づけになっているので、効果的な運用に努められたい」旨の発言があった。

(10) 児童虐待事案への対応

少年課長から、
児童虐待事案への対応について報告があった。

委員から、
「児童虐待事案は件数も多いので、児童相談所と情報共有に努めうまく連携されたい」旨の発言があった。

(11) 交通事故統計外の事故等（平成28年第1四半期）

交通総務課長から、
平成28年第1四半期における交通事故統計外の事故等について報告があった。

(12) 警察職員の援助派遣

警備総務課長から、
「三重県公安委員会から、警戒警備のため、本県公安委員会に対し、警察法第60条第1項に基づく援助要求があり、必要な警察職員を派遣する」旨の報告があった。

(13) 警察職員等の援助要求

警備部参事官から、
「伊勢志摩サミットの開催に伴う警備の万全を期すため、警察法第60条第1項に基づき、警察職員等の援助を要求する」旨の報告があった。

(14) 聴聞等の実施結果・決定

首席聴聞官及び聴聞官から、

運転免許取消処分等に関する意見の聴取等結果	54件
風俗営業等の停止処分に関する聴聞結果	3件
再発防止命令に係る意見の聴取結果	1件

について報告があり、行政処分を決定した。